

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄に関する第三国の動向（その他）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43849

1
5
-

万部
大政事外外官
事務次長
大臣官舎審議長
信務文会管給
総務人監原計
参調折
参領旅移
参北東経
中西
参北東
参一
参西東洋
西東
参近ア
参経国万
参統
参政技二
国一理
参条協規
参政経科
専社専
参道内外
一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 21124 主管
69年5月18日 18時10分 イラン 務 近
69年5月19日 00時12分 本省 務 近

外務大臣殿 守山 臨時代理大使 総領事 代理
サトウ総理及び貴大臣へのザヘデイ外相の伝言(せき油探くつ問題)

第196号 極秘 至急(ゆう先処理)
1. ザ外相が16日パキスタン訪問より帰国し17日朝連絡越したので、向日本使会談したところ、同外相は、はいえつ、サトウ総理及び貴大臣との会談をはじめ滞日中の全日程について最も満足したとて、日本政府の配慮に対し深く謝意を表明した(公信参照)が、特にサトウ総理及び貴大臣に伝達ありたいと前置きしてせき油探くつ問題について要旨次の通り述べた。
東京における会談の結果を皇帝に報告したところ、皇帝は、10年前イランがコンソーチアムク域以外のく域における探油について主要諸国を招請した際には日本業者申出の条件はP.A.N.A.M.の条件を大はばに下まわり問題にならなかつたが、今日日本が希望するなら、イランとしては友好的配慮の下に探油に関して日本と提携すべきであるとて、直ちに對日協議を進めるべしと指示された。よつて自分はN.I.O.C.フアラ一専務理事と協議し彼が予定していた渡米の計画を延期させ、彼自身が對日協議を担当することと

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

し、場合によつては自分(外相)も交渉を指きする考へてあつたところ、先刻ホベイダ総理より電話あり、総理が本件に関する對日協議のさい配をとるようにと皇帝が指示された由である。ついで至急日本政府より本件話合のため最高級の人物をイランに派遣されるよう御配慮願いたい。自分はフアラ一氏を日本に派遣することも考へたが、日本の代表者に来イしてもらう方が交渉を早急に進め得るのでこの様な要請をする次第である。
2. よつて本使より8日付近ア局長務本使あて半公信の趣旨について説明したが、外相は、「そのような人達が来イすることも必要であるが、実は皇帝の希望があるほか、N.I.O.C.がドイツとせき油探くつに関する提携について話合を始めた事情もあるので、アルゼリアに出張した人達が当地にも2-3日立ち寄りということではなく、N.I.O.C.とつち込んで交渉し得る最高級の人物が至急日本から直接当地に来られることを強く希望する」と述べて、重ねて上記1.の次第をサトウ総理と貴大臣に伝達方要請した。
3. ついては、わが国せき油事情が極めて複雑なためかかる要請に直ちに應ずるにはかなり困難ありとは重々察するも、最近わが對イ輸出が1年前に比して倍増のペースで急増中であり、B.A.R.E.G.A.N.B.A.E油の如き低いおう分のせき油が探油されるに至っている事柄あるにもかんがみ、至急本件御審議の上ザ外相に対する回答振りにつき御回電

極秘

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

あるようお願いする。なお本使当地離任前にザ外相に回答し得れば幸じんと存ず。

(3)

(近々課長に連絡済 0815 (19日))

-3-

外務省

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 21127
 69年 5月 18日 19時 05分 イラン 発
 69年 5月 19日 00時 41分 本省 着

外務大臣殿 宇山 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

おきなわ問題

第198号 特秘

17日往電第196号会談の際、ザヘディ外相は、サトウ総理及び貴大臣に伝達ありたいとて、要旨次の通り語つた。

1. 台湾及び韓国を訪問中、自分は両国政府から米國が日本の圧力にくつしておきなわにおける米軍を大はばに引あげる可能性あるためゆう慮していると聞かされた。しかしながら、自分は、日本国内の安定の保持が最も重要なことであり、その為には米國が難きをしのんで譲歩すべきであると考える。

2. 帰国後皇帝にこの旨を報告したところ、皇帝はその通りだ。陸上基地撤去後といえどもボリス潜水艦の抑止力を利用し得るはずであると述べられ、直ちにニクソン大統領に対して個人的友人として自分(皇帝)は大統領がおきなわ問題に関する日本の主張に十分みみを傾けることを希望する旨の特別のメッセージを送られた。

米に転電ありたい。

外務省

極秘

大政外外官
 務次 房
 臣官官審審長
 儀審文会審給
 総人電厚計
 国務長
 参調折
 参領旅移

ア 参北東経
 長 中西
 米 参北北保
 中 参一二
 南 参西東洋
 欧 参西東
 基

近 参寄近ア
 経 次総経国万
 長 参官統
 参政技二
 参一理
 参条協規
 参政経科
 長 参協専
 参道内外
 一二

(回覧番号) 外務省電信案 (分取)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 暗	符号表示 略 平	※ 総第 22872 号
※ 第 721 号	※ 昭和 44 年 5 月 19 日 時 16 分	
大至急・至急・普通・LTF		※ 発電係 杉

電信課長 課長 政務官 事務官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課長	主管局部課(室)名 米局長 起案 昭和 44 年 5 月 19 日 起案者 電話番号 米局長
	協議先	

在米 下田 大使 臨時代理大使
総領事 代理 於 彦和 大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使
報 報 総領事 代理 於

件名 沖縄問題

行々米電 中198号 (総番号 2127) 電電

19 29
写
済

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七・一改正)